

江差町立南が丘小学校



かけはし



【本年度の重点教育目標】

『学習したことをもとに考え、自ら実行できる子どもの育成』

〔笑顔・信頼〕〔学び合い・高め合い〕〔習慣・継続〕

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489

あいさつ  
挨拶は大切

南が丘小学校長 安田 善紀

運動会に向かって、学校・学級経営を軌道に乗せ、集団・組織の醸成を目指して取り組んできました。運動会後は、更なるステップアップのために1学期終了まで新たな目標に向かって進んでいる所です。私は、4月からの学校経営を振り返り、成果と課題を整理し、改めて重点実践事項の推進に向け改善プランを作成しています。その一つが元気な挨拶・返事の充実です。

4月の1学期始業式で、子どもたちががんばって欲しい重点事項の一つとして、『どこでも元気なあいさつ・返事』を掲げました。毎朝学校近くの交差点で登校指導を行っていますが、しっかり立ち止まり丁寧にお辞儀しながら「おはようございます。」と朝の挨拶をしてくれる子もいます。6月は児童会役員の皆さんが「あいさつ運動」を企画し、各教室を回って元気な挨拶が校舎に響き渡っています。

挨拶という漢字が気になり調べてみると、次のような意味があることがわかりました。

挨・・・「押し開く」「近づく」→『心を開く』  
 拶・・・「せまる」「近づく」→『相手に近づく』



なるほど！「挨拶」とは『心を開き、相手に近づく』行為なのだな、と妙に納得しました。挨拶の大切さは昔からよく言われているところです。しかし、挨拶がなぜ大切なのかについては、あまり考えられてこなかったように思います。私たち大人は子どもたちに対して、「挨拶をきなさい！」とか「そんな声では聞こえない！」などと言って指導をすることがあります。表面的な形にとらわれていたために、挨拶の本質を忘れてしまっていた部分が少なからずあったのかもしれない。

「挨拶をきなさい。」ということは、言い換えるなら「心を開き、相手に近づいていきなさい。」ということです。そうやって子どもに求めるのであれば、私たち大人がまず子どもたちに対して『心を開き、子どもに近づいていこうとする』姿が大切なのではないかと思いました。

南が丘小学校の子どもたちは、先に述べたようなすばらしい挨拶をする子もいますが、全体的にはまだまだこれから鍛えていく余地があると感じています。挨拶を理屈で教えることもさることながら、挨拶をすることにより、人と人が交わることの気持ちよさを実感させ、そういった体験を積み重ねることにより南が丘小学校が挨拶あふれる学校になることを夢見ています。どうぞ、保護者の皆さん、地域の皆様も一緒になり、挨拶の気持ち良さを広めていきましょう！

# 運動会が無事に終了

～応援・ご協力ありがとうございました～

6月1日、南が丘小学校運動会を行い、「一致団結～力いっぱい元気よくあきらめない～」のスローガンのもと、全校45名が紅白に分かれて熱戦を繰り上げました。子どもたちは、運動会本番に向け練習を重ね、団結して力を出し切ることを学びました。



PTA 綱引きでは、力と力のぶつかり合いで、3回とも接戦でした。大人の本気を見せてくださいました！



子どもたちからのお願いに率先して借り人となってくださった皆さん。ご協力感謝します！



たくさんの地域の方が一緒に踊った鯉踊り。南小出身の保護者は、体がしっかり踊りを覚えているようです。

子どもたちは、短距離走と運命走の個人種目、綱引きとキャッチアンドゴー（シーソーに載せたボールを上げ、キャッチする競技）の団体種目、全校四色リレーなどの競技に参加しました。結果は紅組の勝利となりましたが、子どもたちが一生懸命自分の力を出し切ってがんばっている姿が見られ、とてもすがすがしい運動会だったと思います。また、鯉踊りでは保護者・地域の皆さんと一緒に大きな輪になって踊りました。たくさんの人たちが踊っているのを見て、鯉踊りが世代を超えて引き継がれていることを実感しました。保護者・地域の皆さんには、子どもたちへの応援の他、借り人競争や親子競技、綱引きなどにもご参加いただき運動会を大いに盛り上げてくださいました。ありがとうございました。

## いじめを防止するための取組について

今月、子どもたちにいじめについてのアンケートを行いました。その結果、「4月から今までに、悪口を言われたり、たたかれたりしたなど、嫌な思いをしたことがある」と答えた子どもが半数近くもいました。学校では、この状況を重く受け止め、学校が子どもたちにとって安心して学べる場所となるように、全職員でいじめ防止に取り組んでいます。具体的には、担任による1人1人への聞き取りを行い、全職員での問題を共有しました。また、毎月の職員会議での児童実態交流、児童理解を進める特別活動の研修などを行っています。今後は、校長、教頭、生徒指導担当、担任、養護教諭による校内対策委員会で話し合います。そして、保護者の皆様と個人面談等で問題を共有し、共に対策を考えます。何か子どもたちの気になることがありましたら、学校へご連絡お願いいたします。